

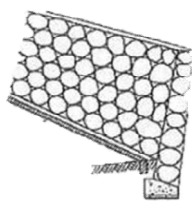
あなたの擁壁は大丈夫ですか？

「今まで何も無かったから大丈夫」なんて思っていませんか？擁壁は常に風雨にさらされています。今は大丈夫でも、将来も安全とはかぎりません。

●こんな擁壁は要注意！

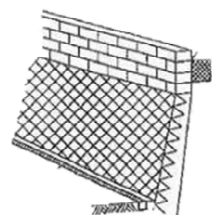
空石積み擁壁

石を積み重ねただけなど、コンクリートと一体化していない擁壁。



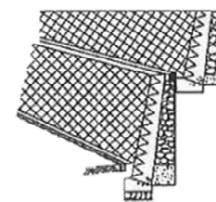
増し積み擁壁

既存の擁壁の上にコンクリートブロックなど継ぎ足して造られた擁壁。



二段（多段）擁壁

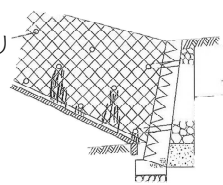
擁壁のすぐ上に別の擁壁が設けられているもの。



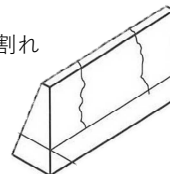
●こんな状態は危険です！

- ・水抜き穴が無い、又は詰まっている。
- ・ひび割れ、不自然な傾き、ふくらみなど

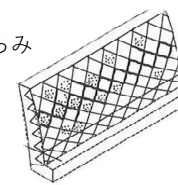
水抜き穴の詰まり



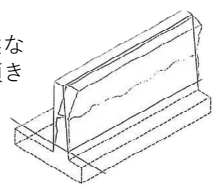
ひび割れ



ふくらみ



不自然な傾き



全ての画像は国土館大学 特任教授 橋本隆雄氏出典より引用

日常点検のポイント（大雨や地震の後は入念に！）

- ・擁壁にひび割れ等が無いか確認する。
- ・擁壁の排水状況が良好か確認する。
- ・擁壁面がふくらんだり、不自然に傾いたりしていないか確認する。

擁壁に関する注意事項

- ・擁壁の高さ以上に土を盛らない。
- ・擁壁の下側で大規模な掘削をしない。
- ・擁壁の上側に新たな構造物は原則築造しない。
- ・宅地内の雨水排水の流れを阻害しない。

もし擁壁が崩壊した場合、その責任は所有者であるあなたにかかってきます。日頃の点検を行い、異常が見られた場合は、すぐに一級建築士等の専門家に相談し、補修や撤去、または再築造の検討をしましょう。**※高さが2 mを超える擁壁を築造する場合は確認申請が必要です。**